

浜名湖水辺整備基本計画（案）に関するパブリックコメントにおける御意見及びそれに対する県の考え方等

1 意見募集期間 令和7年2月7日（金）から令和7年3月7日（金）まで

2 意見件数等 3人の方から9件の御意見を頂いた。

3 意見区分等

区 分		内 容	件 数
A	御意見を踏まえて案を修正する	御意見の趣旨を踏まえ、案を修正する場合	7 件
B	御意見の趣旨を踏まえて取り組む	案の修正はしないが、御意見を踏まえて取り組む場合	0 件
C	業務の参考とする	現時点では意見を計画や取組に反映することは困難だが、今後の参考とする場合	2 件
D	原案のとおりとする	計画の修正に関わる意見だが、修正せず原案のとおりとする場合	0 件
E	計画に記載済み	計画への記載についての意見だが、既に記載してある場合	0 件
計			9 件

4 御意見の内容及びそれに対する県の考え方

番号	該当部分	御意見の内容	県の考え方	
1	P2, 3 1. はじめに 1.4 計画の対象範囲	・浜名湖が都田川と釣橋川であることの表示及び文章での明記。	A	・浜名湖や支湖が、県が管理する河川であることを追記します。
2	P8 2. 浜名湖の概要 (3) 社会経済状況 2) 交通	・交通と浜名湖のかかわりが表記されていない。 (例) 浜名湖の地形的要因から、鉄道や道路の交通網が、表浜名湖と奥浜名湖の狭い範囲に集約され、災害時には大きなリスクとなる。また、湖内の水上交通網はない。	A	・湖内の水上交通網の現状について追記します。
3	P17 3. 浜名湖の水辺空間の現状と課題 3.2 水辺利用に関する現状と課題 (2) 観光、マリンスポーツ	・プレジャーボートによる魚釣りを追加（プレジャーボート対策をした原因）すべき。 ・水上オートバイ運航ルールが定められた経緯等を明記すべき。	A	・湖内の利用や静岡県河川管理規則及び告示の改正について追記します。

4	P19 3. 浜名湖の水辺空間の現状と課題 3.2 水辺利用に関する現状と課題 (4) 船舶の利用	・大規模災害時には周辺道路が液状化等で利用できないことも想定されるため、漁港や公共マリーナでの水上交通利用が計画されている。また、浜名湖SAは大規模災害時の防災拠点であることから船舶活用の拠点にも期待される。 ①「船舶による災害時の輸送等に関する協定」 静岡県西部地域局・浜松市・湖西市・浜名湖総合環境事業団・静岡県マリーナ協会の5団体が2023年2月に締結 ②「漁船による緊急輸送活動に関する協定書」 静岡県・浜松市・湖西市・浜名漁業協同組合の4団体が平成10年4月に締結	A	・湖内における大規模災害発生時等における関係機関との協定について追記します。
5	P27 5. 浜名湖の魅力向上や地域の活性化につながる構想や取組 (P12, 17)	・新居弁天の命山やその周辺のキャンプ施設などの観光が抜け落ちている。	A	・関連する周辺の施設に追記します。

6	P35 5. 浜名湖の魅力向上や地域の活性化につながる構想や取組 5.3.3 プレジャーボート放置艇・係船対策	・委員会の提言に基づいたというものだけではなく、それに至った原因や問題点、対策、その結果等を、数字を挙げて明示すべき。浜名湖総合環境財団の働きについても。	A	・取組の具体的な内容について追記します。
7	P53～75 巻末資料 ■ 浜名湖における関係法令	・河川管理条例 水上オートバイ運航ルール を追加すべき。 ・河川区域を追加すべき。	A	・河川区域、河川管理条例等について追記します。
8	—	・浜名湖において、水難事故や将来発生が予想されている南海トラフ地震に対し、救急・救助活動や緊急物資輸送・被災者移送等の目的で、各公共マリーナにて防災栈橋が設置されており、有事の際のマリーナ施設の利用等に関する関係機関の協定締結がなされている。 ・また、令和2年、令和3年では、国土交通省を主	C	・当該地区の湖岸堤を整備する際に、関係機関と連携し、地域の実状及びニーズの把握に努めます。

		体として、小型船舶を活用した海上輸送訓練も実施されており、海上輸送の有用性については一定の結果が得られているものと推察される。 ・そうした中で、浜名湖SAについては、浜名湖地域で唯一高速道路と直結した海上拠点であり、東西に対する長距離の陸路輸送等との相互の効果も期待できる。また、同様の理由により、浜名湖周辺地域における観光への活用としても効果が期待される。 ・一方で、浜名湖SAでは、栈橋やその連絡路に関しては、適宜仮設施設の設置により対応しており、緊急時の海上輸送利用としては拠点性・機能性が低いと考えられる。 ・そこで、浜名湖SAを拠点とした海上輸送訓練や、浜名湖周辺観光の振興に寄与する社会実験を実施し、その効果について定量的に把握することが望まれる。また、その過程で関係機関各所や周辺地域の理解、連携や相互協力の体制が図れると良い。 ・そして、一定の効果を確認した上で、浜名湖SAを拠点として再整備し、浜名湖周辺地域の防災機能の向上、観光振興の一助として有効活用できることを期待する。	
--	--	---	--

9	－	・湖西市給食センターの計画敷地が、静岡県が管理している浜名湖の護岸に面しております。 ・本建物が完成してしまいますと、護岸整備工事のアクセスが浜名湖側からのみとなってしまうため、可能であれば、給食センターの完成前にこの部分の護岸工事を先行して頂けると双方メリットがあるのではと思います。 ・ご検討頂けると助かります。	C	・湖岸堤整備については、今後策定する法定計画である河川整備計画に位置付けて進めていきます。
---	---	--	---	---